

創立三十周年を迎えて

北海道白老東高等学校創立三十周年記念協賛会を代表して、一言お祝い申し上げます。

さて、北海道白老東高等学校は昭和六十二年四月開校以来、平成二十八年度をもちまして三十周年記念の年を迎えることとなり、誠に喜びにたえません。

顧みますと昭和五十二年十二月、「白老高校全日制普通科設置期生会」のちの「白老町に道立高校の設置を求める会」が設立され、白老町の関係者の方々のご努力と熱意で、一万三千人余りの署名活動が行われ、昭和六十二年四月九日に開校式、第一期生百八十三人を迎え、第一回入学式が挙行されました。

本校は、「自彊、聡明、礼節」（学習や心身の鍛錬に自ら励み、将来にわたってたくましく生き抜く力。他者の話をよく聞き、物事をよく理解し、未来を見通した正しい判断ができる力。お互いに他を敬い相手から信頼され、長上に対しては礼を失わず生徒相互は人間として尊重し高めることのできる人間の育成。）の校訓のもと、生徒一人ひとりの特性に応じた教育方針を貫き、学校生活はもとより、部活動や校外活動も盛んで、白老町東部地区の豊かな自然環境の中、平成二十七年度までに約三千七百人の卒業生を送り出してきました。卒業生は地元のみならず、道内外で活躍しておられることは誠に喜ばしい限りであります。

在校生の皆様におかれましては、この伝統ある校風を受け継がれ、学習にスポーツにといそしまれるよう希望する次第であります。

三十年の歩みを回顧し、これまでご苦勞いただいた方々に深く感謝するとともに、本校の一層の発展を願い校長先生をはじめとする教職員の方々、PTAの方々、同窓会の方々に相ばかり、創立三十周年記念協賛会を設立、記念事業として記念DVDの作成、記念式典が滞りなく遂行できますこと、ご協力をいただいた皆様に感謝申し上げます。

この創立三十周年記念式典が本校の歴史の節目として意義あるものとなり、北海道白老東高等学校の益々の発展を祈念してお礼のご挨拶といたしますとともに、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成二十八年十月二十九日

創立三十周年記念事業協賛会 会長 清水 尚昭